

角渕由英氏が開発した「生成 AI 特許分析 GPTs」について



Genspark

May 25, 2025

はじめに

「生成 AI 特許分析 GPTs」は、特許弁理士であり理学博士でもある角渕由英氏によって開発された、エージェント型の生成 AI（人工知能）ツールです。角渕氏は特許検索、特許分析、知的財産戦略において豊富な経験を持ち、このツールは生成 AI を活用して特許分析ワークフローを革新するために設計された専門 GPT ソリューションの一部です [note.com¹](https://note.com/1)。

開発者プロフィール

角渕由英氏は以下のような優れた資格と経歴を持つ特許専門家です：

- 博士（理学）東京大学（2014 年）
- 弁理士登録（2016 年）
- 特許検索競技大会 2017 ゴールド認定（化学・医薬分野）（2017 年）
- 特許検索競技大会 2018 シルバー認定（機械分野）（2018 年）
- AIPE 認定知的財産アナリスト（特許）（2019 年）
- Qualified Patent Information Professional (QPIP™)（2025 年）
- 弁理士法人レクシード・テック パートナー（2023 年～）
- 特許検索競技大会実行委員会 委員長（2025 年～）
- 特許検索戦略に関する複数の著書を執筆
- 7 件の特許を取得（発明者として）[note.com¹](https://note.com/1)

生成 AI 特許分析 GPTs ツールについて

概要

生成 AI 特許分析 GPTs は、簡単なテキスト入力からウェブ情報と特許データを体系的に調査・分析するエージェント型 GPT です。このツールは、段階的なプロセスを採用して、対

象技術に関する構造化された包括的な分析レポートを生成します [note.com2](#)。

主な特徴

1. **エージェント駆動型ワークフロー**：複数の調査層を順次進行する 3 段階分析を提供 [note.com2](#)。
2. **シンプルな入力インターフェース**：分析したい技術の簡潔な説明を入力するだけで利用可能 [note.com2](#)。
3. **情報源の統合**：ウェブ情報と専門特許データベースを組み合わせることで包括的な分析を提供 [yoroziupsc.com3](#)。
4. **構造化出力**：技術分析の異なる側面を明確なセクションに分けた、高度に整理されたレポートを生成 [note.com4](#)。
5. **Deep Research 統合**：さらなる調査のための Deep Research プロンプトを自動生成 [note.com2](#)。

プロセスフロー

このツールは 3 段階の分析プロセスで動作します：

1. **Part 1/3：技術に関する一次調査レポート**
 - 検索された技術の概要を提供
 - 技術コンポーネントを構造化、分類
 - 技術的なランドスケープをマッピング
2. **Part 2/3：特許情報の分析レポート**
 - 関連する特許情報を分析
 - 技術の独自性と競争状況を明らかに
 - 主要プレイヤーと技術トレンドを特定
3. **Part 3/3：ビジネス実装・製品化・規制・資金調達の詳細調査レポート**
 - ビジネス実装例を検討
 - 製品化状況を探索
 - 資金調達トレンドと規制の考慮事項を検討 [note.com2](#)

活用シーン

生成 AI 特許分析 GPTs ツールは、さまざまな特許関連シナリオ向けに設計されています：

1. **初期技術ランドスケープ評価**：新興技術を迅速に理解
2. **競合情報収集**：競合他社の特許ポートフォリオ分析
3. **研究開発方向の計画**：有望な技術的方向性の特定
4. **FTO (Freedom-to-operate) 評価**：潜在的な特許競合の特定
5. **投資および買収デューデリジェンス**：IP 資産の評価

6. ビジネスチャンスの特定：技術革新の分野を見つける [note.com2](#)

角淵由英氏による関連 GPTs

角淵氏は補完的な特許中心の GPT スイートを開発しています：

1. **生成 AI 先行技術調査**：自然言語入力から先行技術を段階的に調査・検証するエージェント型 GPT。このツールはユーザー入力を技術コンポーネントに分解し、検索キーワードと分類コードを提案し、特許データベース検索クエリを生成します [note.com5](#)。
2. **侵害予防調査と無効資料調査のノウハウ～特許調査のセオリー～**：角淵氏の出版物に基づいた GPT で、特許検索の理論と方法論に関するガイダンスを提供します [note.com6](#)。

技術実装

生成 AI 特許分析 GPTs ツールはいくつかの高度な AI 機能を活用しています：

活用されている AI 技術

1. **自然言語処理**：非構造化技術説明の理解のため
2. **分類とタグ付け**：技術要素と特許関係を分類するため
3. **構造化データ抽出**：特許文書から関連情報を取得するため
4. **複数ソース統合**：ウェブと特許データベース情報を組み合わせるため
5. **レポート生成**：一貫性のある構造化された分析文書を作成するため [yorozuipsc.com3](#)

データソース

特定の特許データベースについて明示的な言及はありませんが、このツールは業界で一般的に使用される特許情報源と統合されているようです：

- ウェブ情報（一般的な技術ランドスケープ）
- 特許データベース（詳細な特許分析用）
- ビジネス実装データ（市場分析用） [note.com2](#)

特許分析手法

角淵氏は生成 AI を用いた特許分析の以下のベストプラクティスを推奨しています：

1. **双方向対話アプローチ**：単一のプロンプトから完璧な結果を期待するのではなく、AI との会話を通じて進める
2. **一貫したフォーマット**：より容易な比較のために一貫した出力形式を使用するように AI に指示する

3. **可視化**：特許間の関係を視覚化するためにダイアグラム作成 AI (Napkin AI など) を使用する
4. **プロンプトエンジニアリング**：より正確な結果を得るために最適化されたスクリーニングプロンプトを作成する chizai-jj-lab.com⁷

実用例

デモンストレーション例では、生成 AI 特許分析 GPTs ツールを使用して「RFID タグとリーダーを活用したセルフレジシステム」を分析しました。このシステムは以下をカバーする包括的な 3 部構成のレポートを生成しました：

1. 技術概要とコンポーネント構造
2. 特許ランドスケープ分析
3. ビジネス実装と規制上の考慮事項 note.com⁴

より広い文脈

角淵氏によるこれらの GPTs の開発は、日本国内および世界的な AI 支援特許分析の広範なトレンドの一部を表しています。2017 年に権威ある特許検索競技大会で優勝した特許弁理士として、彼の専門知識はこれらのツールに大きな信頼性をもたらしています note.com¹。セミナーや出版物において、角淵氏は生成 AI が特許分析の効率を劇的に改善できる一方で、精度検証のために人間の監督が不可欠であることも強調しています yorozuipsc.com³。

結論

生成 AI 特許分析 GPTs は、従来労働集約的なプロセスであった特許分析を効率化するために生成 AI を活用した重要な進歩を表しています。ウェブ情報と特殊な特許データを組み合わせ、3 段階構造形式で分析を提示することで、角淵由英氏は特許専門家、研究者、ビジネスストラテジストのための強力なツールを作成しました。

このツールの進化に伴い、より専門化されたデータベースとの統合や分析能力の強化により、特許ランドスケープ分析の実施方法がさらに変革され、これまで専門家のみが利用可能だった高度な特許インテリジェンスへのアクセスを民主化する可能性があります。

Appendix: Supplementary Video Resources



#生成 AI を使って #特許検索式 を作成する - #特許検索式作成 ...

Jul 14, 2024



#生成 AI を利用した今後の #特許調査 ・ #特許分析 - #佐藤寿 ...

1 month ago



生成 AI×特許調査 第2弾（後編）

Dec 18, 2024

もっと詳しく

1

note.com

2

note.com

3

yorozuipsc.com

4

note.com

5

note.com

6

note.com

7

chizai-jj-lab.com